

家庭学習の手引き

第3版 令和4年4月

鳥羽市の家庭学習の基本形
(ひとり学びのスタンダード) です！



名前：

鳥羽市教育委員会 編

家庭学習の手引き

鳥羽市立（ ）学校

1. 家庭学習を通して育てたい児童・生徒の姿

- 生活時間の有効な使い方を身につけた児童・生徒
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた児童・生徒
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた児童・生徒



2. 基礎的・基本的な学習内容が身につけている姿

- 教科書に出てくる文章をすらすら読むことができる。
- 習った漢字を正しく使って文章を書くことができる。
- 教科書の問題を自分の力で解くことができる。
- 日常的に復習に取り組むことができる。



3. 家庭学習の習慣を身につけるために

(1) 家庭学習を進めるポイント

- ① 時間を決めて、毎日学習に取り組む。
- ② 勉強する時はテレビ等を消し、集中できる環境で取り組む。
- ③ 中学年以上は、学習をした後、答え合わせに取り組む。
- ④ 復習のために、eライブラリに積極的に取り組む。



**たくさんありますが、できることから、
少しずつがんばっていきましょう！！**



(2) 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題ができる ・宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。 ・少しずつ自分で○つけができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題が確実にできる。 ・宿題以外の自主的な学習に取り組むことができる。 ・自分で○つけができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で計画的に家庭学習に取り組むことができる。 ・自分の興味や必要に応じた自主的な学習に進んで取り組むことができる。 ・自分で○をつけ、まちがいを直すことができる。

ご家庭での声かけを大切に

- ☆ お子さんがやりとげられるように、励ましてあげてください。
- ☆ お子さんの質問には、できる範囲で答えてあげてください。
- ☆ お子さんが学習したことを、できるだけ見てあげてください。
- ☆ 学習したことを覚えているか、一緒に確かめてあげてください。



(3) 家庭学習時間の目安

学年 × 10分 以上! (例えば6年生なら6×10=60分以上)

※中学生は学年×1時間以上を目標にしましょう!

これはあくまでも目安です。休日や長期休み等では、1日に勉強する回数を**2回**以上にするなどして、**30分~60分**程度増やせると良いでしょう。



ご家庭で子どもに学びの環境を!

できることから少しずつ…。



- ☆ 新聞やニュース等の話題を子ども達と話し合ってみましょう。
- ☆ できる範囲で、新聞を読ませてみましょう。
- ☆ 半年以上前に学習したことを、復習しましょう。
- ☆ 国語辞典、漢字辞典、その他図鑑等を身近なところに置くことで、お子さんの好奇心を引き出しましょう。
- ☆ 日本地図、世界地図、地球儀を身近なところに置いて子ども達の視野を広げてみましょう。

たくさんありますが、できることから、少しずつがんばっていきましょう!!

小学校 1・2年

☆ 自然や生き物とふれ合い、お子さんと一緒に観察しましょう。
基本的な学習習慣を身につける！

1・2年生では・・・

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着には有効だといえます。

家族の協力を得ながら、学校で学んだことを復習する習慣を身につけていく期間です。

できたこと・できるようになったことをほめ、認めていくことで子ども達の学習に対する興味や関心を引き出し、意欲を高めていくことができます。

学習時間の目安

10~20分
以上



学習の特徴

○ 45分を1時間とした授業の中で、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し学習することで力がつく学習内容がたくさんあります。

○ 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本です。

○ 生活と結びついている学びが多く、身近な物を使ったり、実際に体験したりする学習がたくさんあります。

家庭での援助

○ 学習を始める前にテレビ等を消して、学習をする場の整理整頓をしましょう。

○ 学校からの連絡やお便り等の配布物を確認し、明日の授業予定等をお子さんと一緒に確かめましょう。

○ なるべく学習する時間を決め、近くで様子を見守りましょう。

○ 毎日宿題を最後まで取り組ませることを続けていきましょう。

○ 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、お子さんの生活経験を増やしていきましょう。

家庭学習の内容

【国語】

(音読)

- 楽しみながら、大きな声ではっきりと読ませてやってください。
- 句読点（「、」や「。」）に気をつけて、すらすら読めるようになることを目標練習させてやってください。
- 毎日続けて練習すると効果的です。タブレット端末に、録音して聞いてみましょう。

(ひらがな・カタカタ・漢字・言葉)

- 書き順や文字の形に気をつけて書かせてください。
- 正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書かせてください。

(読書)

- 子どもの興味や関心に応じた本を身の回りに置いてください。
- 読み聞かせは、親子で楽しみながらできる学習です。

【算数】

- 計算力向上のためには、まずは正確に計算ができるようになることが大切です。あわてずに、正しい計算手順を確実に身につけていきましょう。
- 正しく計算できるようになったら、徐々に早くできるよう練習をさせます。計算カード等を使ったり、時間を計りながら取り組んだりすることも有効です。
- 取り組んだ問題は見直しをさせ、間違った問題をもう一度やり直しをさせることは、たいへん効果的です。

【その他】

- 鍵盤ハーモニカの練習や、生活科の学習の一環で、動植物の観察やスケッチにもチャレンジできるといいですね。
- 楽しかったことやうれしかったことを、家族と話しながら、自分の言葉で絵日記や日記に書かせていくことにも挑戦してみてください。
- 家庭での支援として、お子さんの音読を聞き、感想を伝えてあげるとてもすてきなことです。ご家庭でのあたたかい声かけは、子どもの学びへの意欲を高めていきます。

☆ 積極的に、eライブラリに取り組ませてください。解答解説も読む習慣をつけておけるとよいでしょう。

こんなべんきょうをしてみよう!

【じどうよう】

1年生

- 1 かならず しゅくだいを する。
- 2 おわったら おうちのひとに みてもらう。
- 3 じかんがあるときや やすみのひに つぎのような べんきょう をしてみよう。

【こくご】

おすすめ!	べんきょうの しかた
1 きょうかしょを よむ。	いま べんきょうしている ところを 3かいよむ。
2 ひらがな・カタカナ をかく。	<p>ならった じを かきじゅんや じのかたちに きをつけて かく。</p> <p>【eライブラリを つかって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな・かたかな のもんだいを やって みよう。
3 かんじを おぼえる	<p>【かんじドリル などをつかって】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① かんじの ところを 3かい よむ。 ② ひらがなの ところを みて ノートに かんじに なおして かく。 ③ もういちど かんじの ところを みて ○つけを する。 ④ まちがえた じは ノートに 3かい かく。 <p>【eライブラリを つかって】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① かんじのもんだいを やって みよう。
4 ことばの がくしゅう	<p>【eライブラリを つかって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなことばがあります。 eライブラリ のもんだいを やって みよう。
5 にっきを かく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ どこで だれが なにをしたかを かく。 ・ ならったことばや カタカナ かんじを つかって かく。 ・ おもった ことも かく。
6 どくしょを する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな ほんを よむ。 ・ としょかんで ほんを かりましょう。

【さんすう】

<p>1 きょうかしよの もんだいを する。</p>	<p>① がっこうで べんきょうした ところを もういちど ノートに する。 ② さんすうの ノートをみて まるつけをする。 ③ まちがえた ときは もういちど おなじもんだいに チャレンジ！</p>
<p>2 けいさんの れんしゅうを する。</p>	<p>【けいさんドリル などを つかって】 ① ばんごうをかき もんだいを ノートに うつして かく。 ② しきや こたえを かく。 ③ こたえを みて まるつけをする。 ④ まちがえた ところは おうちの ひとに きいて かきなおす。 【eライブラリを つかって】 ・いま、がっこうでべんきょうしている もんだいに こたえる。 ・まえに、がっこうでべんきょうした もんだいに こたえる。（やりかたを、おぼえている かな??）</p>

みんなべんきょうをしてみよう!

【じどうよう】

2年生

- 1 はじめに しゅくだいを する。
- 2 おわったら おうちの人に 見てもらう。
- 3 つづいて つぎのような べんきょうを やってみよう。

【こくご】

おすすめ!	べんきょうの しかた
<p>1 きょうかしよを よむ。</p>	<p>今 べんきょう している ところを 3かい よむ。</p>
<p>2 かん字を おぼえる</p> <p>・ことばのがくしゅうをする。</p>	<p>【かんじドリルを つかって】 ① かんじの ところを 3かい よむ。 ② ひらがなの ところを 見て ノートに かん字に なおして かく。 ③ もういちど かん字の ところを 見て まるつけ をする。 ④ まちがえた 字は ノートに 3かい かく。 ⑤ ならった かん字を つかって みじかい 文を ノートに かく。 【eライブラリを つかって】 ・「ことばの いみ」「ことばの つかいかた」の がくしゅうをする。</p>

3 日きを かく。	<ul style="list-style-type: none"> • いつ どこで だれと なにを したかを かく。 • ならったことばや カタカナ かん字を つかって かく。 • おもった ことも かく。 • かいわを 「 」を つかって かく。
4 どくしょを する。	<p>いろいろな 本を よむ。 としょかんで 本を かりましょう。</p>

【さんすう】

1 きょうかしょの もんだいを する。	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校で べんきょうした ところを もうーど ノートに やってみる。 ② さんすうの ノートを見て ○つけを する。 ③ まちがえた ときは もうーど する。
2 けいさんの れんしゅうを する。	<p>【ドリルを つかって】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ばんごうをつけて、もんだいをノートに うつす。 ② しきや こたえを かく。 ③ えをかいて かんがえてみる。 ④ こたえを見て ○つけを する。 ⑤ まちがえた ところは おうちの 人に きいて かきなおす。 <p>【eライブラリを つかって】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今、学校でべんきょうしている もんだいに こたえる。 • まえに、学校でべんきょうした もんだいに こたえる。（やりかたを、おぼえているかな??） • 1年生の時に、学校でべんきょうした もんだいに こたえる。（今でも、ばっちりできるかな?）

自分から学習する習慣
を身につけさせたいで
すね！



小学校 3・4年

3・4年生では・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとする事が多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになります。「勉強が難しくなった」という戸惑いや、苦手意識を持つこともあります。

自信を持たせたり、意欲を高めたりするような声かけや励ましが大切です。

学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳等の使い方を学び、自分で調べる学習が多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則演算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など、抽象的な内容も学びます。

学習時間の目安

30~40分
以上



家庭での援助

○ 家庭でのあたたかい励ましの言葉が子ども達のやる気を引き出します。中学年になりましたが、まだまだ宿題や持ち物の点検等では見守りが必要なことが多いです。少しずつ自分で取り組めるように支援してあげてください。

○ 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して学習に取り組む習慣を身につけさせることが重要です。

○ 学習に取り組む前に、学習する場所の整理整頓をし、自分で今日の宿題を確認させ、必ず最後まで取り組ませましょう。学校からのお便りなどを保護者に手渡す習慣を身につけさせましょう。

○ 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

家庭学習の内容

【国語】

(音読)

- 毎日音読をする習慣を身につけられるといいですね。
- 句読点（「、」や「。」）に気をつけて、楽しみながら文章を正しく読めるといいですね。

(漢字)

- 正しい書き順で、正しい文字が書けるように、練習していきましょう
- 「とめ」「はね」「はらい」「おれ」といった形に気をつけて、読み方や使い方を意識しながら学習していきましょう。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置いておくことで、自然に使い方に慣れていけるといいですね。

(読書)

- いろいろな種類の本を読ませてやってください。

【算数】

- かけ算やわり算など、正しく計算ができるように、毎日練習をしていきましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習していきましょう。力加減が難しい成長段階です。あせらずじっくりと。

【その他】

- 音楽で習った曲（リコーダー等）のは、家でもぜひ演奏の練習をしましょう。せっかくですから、ご家族でお楽しみください。
 - 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然にふれる体験を、親子で楽しみながらできるといいですね。
 - 学校で学習した内容について、家庭での話題にしていただき、得意なことを増やしていけるようにしていきましょう。
- ☆ 積極的に、eライブラリに取り組みさせてください。日常的に復習をすることで、学力の定着につながります。解答解説も読む習慣をつけておけるとよいでしょう。

みんなべんきょうをしてみよう!

【じどう用】



3・4年生

- 1 初めに宿題をします。
(わからないところは、お家の人や先生に教えてもらおう!)
- 2 続いて 次のような学習をしましょう。

【国語】

おすすめ!	勉強の仕方
1 教科書を読む。	今、学習しているところを、音読する。
2 漢字の学習をする。	<p>【漢字ドリルなどを使って】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 漢字のところを、3回読む。 ② ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書く。 ③ もう一度漢字のところを見て、答え合わせをする。 ④ まちがえた字は、ノートに3回書く。 ⑤ 習った漢字を使って短文をつくりノートに書く。 ⑥ 部首や画数を調べて、ノートに書く。 <p>【eライブラリを つかって】</p> <p>一つひとつ、確かめながら、答える。</p>
3 ローマ字の学習をする。 ・ふりがながわりに使われることが、非常に多いです。また、キーボードを使う時にも必要です。ぜひ、早いうちにマスターしましょう	<ol style="list-style-type: none"> ① 教科書などに出てくる言葉をローマ字で書く。 ② キーボードでローマ字入力をする。 <p>【eライブラリを つかって】</p> <p>・一つひとつ、確かめながら、答える。</p>
4 ことばのきまり	<p>【eライブラリを つかって】</p> <p>・一つひとつ、確かめながら、答える。言葉のさまざまなきまりを学習しましょう。解答解説も読んでおくと、よく分かります。</p>

1～3が終わったら次にチャレンジ!



○ 意味調べをする。	① 調べたい言葉を写す。 ② じ書で意味を調べる。 ③ れい文を写す。 ④ 調べた言葉を使って短文をつくり、ノートに書く。
○ 大事なことをまとめる。	学習したことの中で大事なことを、自分なりにノートにまとめる。
○ し写をする。	教科書の文章をていねいにノートに写す。(、) や (。)、(「」) マスの使い方に気をつけて写す。
○ 日記を書く。	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 題や月日を書く。 ・ できごとや気持ちを、伝わりやすさに気をつけて書く。 ・ 習った漢字や語くを使って書く。 ・ 会話の「」や、段落に気をつけて書く。
○ 読書をする。	いろいろな本を読む。図書館でかりてみよう。本の内容を短く数行でまとめてみると、よいでしょう。

【算数】

 1 ふく習をする。	① 学校で学習した問題を、もう一度別のノートにやってみる。 ② 答え合わせをする。 ③ まちがえた時は、解き方を確かめて、できるようにする。 * 解き方をおうちの人に聞くのもいいですね。 【eライブラリを つかって】 たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
2 計算の練習をする。	【計算ドリルなどを使って】 ① 番号を書き、問題をノートに写して書く。 ② 式や答えを書く。 ③ 答え合わせをする。 ④ まちがえた問題は、お家の人や先生に聞いて書き直す。 ⑤ 時間を計って、記録をしていく。 【eライブラリを つかって】 ・ たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
3 予習をする	次に学習するところを読む。

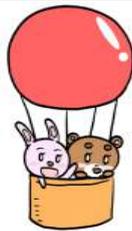
【社会】

<p>1 ふく習をする。</p>	<p>① 学校で学習した問題を、もう一度自分なりに工夫してノートにまとめる。</p> <p>【eライブラリを つかって】</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
<p>2 調べ学習をする。</p>	<p>① じっさいにその場所に行って見学したり、インタビューしたりしたことをまとめる。</p> <p>② 学習したことと関係のあることについて、本やインターネットなどで調べてまとめる。</p> <p>③ 調べた感そうやぎ問などもまとめて、書いておく。</p>



【理科】

<p>1 ふく習をする。</p>	<p>① 学校で学習した問題を、もう一度自分なりにノートにまとめる。</p> <p>【eライブラリを つかって】</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
<p>3 調べ学習をする。</p>	<p>① 学習したことと関係のあることについて、本やインターネット等で調べてまとめる。</p> <p>② 学習したことと関係のある実けんやかんさつをして、けっかや記ろくをまとめる。</p> <p>③ 調べた感そうやぎ問などもまとめて、書いておく。</p>



自学自習の習慣を身につけましょう！



小学校

5・6年

5・6年生では・・・

中学進学を踏まえて、自ら課題を設定し、解決していく力が大切となります。また、自分自身の学力を把握して、計画的に学習を進められるようになることも重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、家族や先生等、周りを取り巻く大人達の言葉かけがとても大切だといえます。子ども達が目標を決めて努力できるよう、あたたかく見守りながら励ましていきましょう。

学習時間の目安

50~60分



以上

学習の特徴

- 学習内容が増え、論理的で抽象的な学習内容が増えます。
- 筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、多様なものの見方や考え方を身につけることができます。

家庭での援助

- 「やればできる!」「やってみたい!」という気持ちを持たせ、子どもに自信を持たせるために、ほめたり励ましたりする事がとても大切です。
- 学習した内容を生活の中でいかせるように、家族の一員としての役割を決めてください。
- 計画を立てて学習が進められるように、学習する場所を決め、整理整頓をさせてください。

○ 家庭学習に取り組んだ時間を記録させていくことがとても大切です。取り組みを目に見える形で残すことは、自信と意欲の向上にもつながります。

家庭学習の内容



【国語】

(音読)

○ 情景を思いうかべながら、気持ちをこめて読むなど、自分なりのめあてを決めて練習に取り組めるとよいでしょう。

○ 詩や俳句などに親しむために、ろう読や暗唱をしてみましょう。

(漢字)

○ 漢字の使い方を意識した練習をしましょう。習った漢字を使って、短文作りにも挑戦するとよいでしょう。

(言葉)

○ 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に活用していきましょう。

(読書)

○ いろいろな種類の本を読むように心がけるといいですね。読んだ内容を短く数行でまとめられると、読む力が向上します。

【算数】

○ よくまちがえる計算は、順序などを確認して、苦手を解消していきましょう。

○ 答えの確かめを、自分でできるようになると、学力がアップします。

【その他】

○ 学校での学習内容を積極的に復習しましょう。教科書やノート、プリントなどを参考に、また、eライブラリも積極的に活用して、苦手を克服しましょう。

○ タブレット端末も効果的に使って、日記や感想文など、文章を書く機会を増やしていきましょう。

○ 星の観察や、社会で学習する生産物を調べさせたりする学習に取り組ませてください。歴史マンガを読むのも、タブレット端末で歴史の動画(NHK for School)を見るのも効果的です。

☆ 積極的に、eライブラリに取り組ませてください。日常的に復習をすることで、学力の定着につながります。解答解説も読む習慣をつけておけるとよいでしょう。

こんな勉強をしてみよう!

【児童用】



5・6年生

- 1 初めに宿題をします。
(わからないところは、お家の人や先生に教えてもらおう!)
- 2 続いて、次のような学習をしましょう。

【国語】

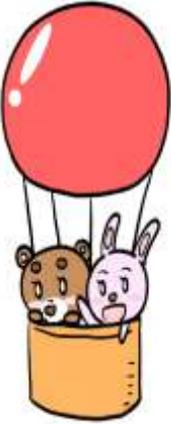
おすすめ!	勉強の仕方
1 教科書を読む。	今、学習しているところを、音読する。
2 漢字を練習する。 	【漢字ドリル等を使って】 ① 漢字のところを、3回読む。 ② ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書く。 ③ もう一度漢字のところを見て、答え合わせをする。 ④ 間ちがえた字は、ノートに3回ていねいに書く。 ⑤ 漢字を使った熟語を調べて書く。 ⑥ 習った漢字を使って短文をつくり、ノートに書く。 ⑦ 部首や画数を調べて、ノートに書く。 【eライブラリを つかって】 一つひとつ、確かめながら答える! 少しずつ、確実にマスターしておきましょう。
3 ローマ字の学習をする。 ・小学生の間にマスターしておきましょう! キーボードを使う時にも必要です。	① 教科書などに出てくる言葉をローマ字で書く。 ② キーボードでローマ字入力をする。 【eライブラリを つかって】 ・一つひとつ、確かめながら、答える。
4 ことばのきまり	【eライブラリを つかって】 ・一つひとつ、確かめながら、答える。言葉のさまざまなきまりを学習しましょう。解答解説も読んで、しっかり理解しておきましょう。

1～3が終わったら次にチャレンジ!

○ 意味調べをする。	① 調べたい語句を写す。 ② 辞典で意味を調べる。 ③ 例文を写す。 ④ 調べた語句を使って短文をつくり、ノートに書く。
○ 大事なことをまとめる。	学習したことの中で大事なことを、自分なりにノートに工夫してまとめる。
○ 試写をする。	教科書の文章をていねいにノートに写す。(、)や(。)、(「」)マスの使い方に気をつけて写す。
○ 日記を書く。	・ 題や月日を書く。 ・ できごとや気持ちを、伝わりやすさに気をつけて書く。 ・ 習った漢字や語句を使って書く。 ・ 会話の「」や、段落に気をつけて書く。
○ 読書をする。	いろいろな本を読む。図書館等でかりてみよう。本の内容を短く数行でまとめてみるとよいでしょう。また、感想を書くことにも挑戦してみる。



【算数】

1 復習をする。 	① 学校で学習した問題を、もう一度別のノートにやってみる。 ② 答え合わせをする。 ③ まちがえた時は、解き方を確かめて、できるようにする。 ＊ 解き方をおうちの人に聞くのもいいですね。 【eライブラリを つかって】 たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
2 計算の練習をする。	【計算ドリル等を使って】 ① 番号を書く。 ② 式や答えを書く。(途中の式や筆算も書く。) ③ 答え合わせをする。 ④ まちがえた問題は、お家の人や先生に聞いて解き直す。 ⑤ 時間を計って、記録していく。 【eライブラリを つかって】 たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
3 予習をする	① 次に学習する問題を解いてみる。 ② わからなかったところを、チェックしておく。

【社会】

1 復習をする。	① 学校で学習した問題を、もう一度自分なりに工夫してノートにまとめる。 ② 図やグラフなどの資料からわかることをまとめる。 ③ 習ったところの資料集をもう一度読んでみる。 【eライブラリをつかって】 たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
2 調べ学習をする。	① 学習したことと関係あることを、新聞・本やインターネットなどで調べて、疑問等と合わせてまとめる。

【理科】

1 復習をする。	① 学校で学習した問題を、もう一度自分なりにノートにまとめる。 【eライブラリをつかって】 たくさん問題があります。どんどんチャレンジしましょう！
2 調べ学習をする。	① 学習したことと関係のあることを、本やインターネットなどで調べてまとめる。 ② 学習したことと関係のある実験や観察をして、結果や記録を、疑問等と合わせてまとめる。

自分に合った学び方を身につけ、実せんする！

中学校

1～3年

～中学生のみなさんへ～

自主的に家庭学習に取り組める人と、そうでない人では、学力差が非常に大きくなります。苦手な教科をつくらないように、日々の予習・復習がとても大切になってきます。分からない問題は放っておかず、必ず解決するようにしましょう。

時間を上手く活用して、計画的に家庭学習に取り組める様に、「自分に合った学習方法」を身につけましょう。

学習時間の目安

1～3時間
以上

学習の特ちょう

- 学習内容が多様になり、自ら課題を見つけ解決する力が必要になります。
- 筋道を立て考える力、多面的に物事を見る力が、さらに必要になります。
- 新しく学習したことを覚えるだけでなく、生活に関連づけて自分の考えを表現することが必要になります。
- 自分の特性を理解できるようになるとともに、得意な教科を伸ばし、苦手な教科を克服することがますます必要になります。日常的に復習していくことが大切です。

～保護者の方へ～

- テストの結果だけに目を向けるのではなく、日々の学習に取り組んでいる様子もしっかり見て、ほめたり、はげましたりすることが大切です。子どもの成長や変化を見逃さないように絶えず見守っていきましょう。
- 豊かな体験は確かな学力の向上につながります。自然にふれさせたり家事をさせたりすることで生きる力と感性を育てていきましょう。
- 新聞やニュース、読んだ本などの話題について、家族で意見交

換をしてみましょう。要点をとらえたり、感想をまとめたりすることに継続的に取り組むと、表現力の向上にもつながります。

○ 学習環境はとても重要です。集中して学習に取り組める環境づくりのために、家族で協力していけるといいですね。

こんな勉強をしてみよう!

【生徒用】

【国語】

基本型	発展型
<p><声に出して読む> 授業で学習している文章を、毎日声に出して読みましょう。毎日音読することで読めない漢字に気がつきます。また、内容が頭に思い浮かぶようにもなります。</p> <p>音読は、文章を理解するための第一歩。とても大切な学習です。</p>	<p>授業で学習した作者について調べたり、他の著書を読んだりすると良いでしょう。</p> <p>また、詩や俳句・感想文などを書く活動では、自分の感情や考えとていねに向き合って表現してみましょう。</p>
<p><漢字は書いて覚える> 見て覚えるより、文章の中での使い方を意識することで、漢字の定着率は高くなります。特に「へん」や「つくり」の意味を考えながら書くと、記憶しやすくなります。書いて覚える等、各個人取り組みやすい方法を選び、自分なりの学習法を見つけていきましょう。</p> <p>1日平均で5～10個の漢字を正しく学習していきましょう。</p>	<p>同じ「へん」や「つくり」の漢字、あるいは同じ漢字がふくまれる熟語やことわざを探するのも良い学習です。</p> <p>漢字検定等に挑戦することは目標を見つけにくい漢字の学習にとってとても有効な手段となります。漢字学習への取り組みが、より意欲的になるでしょう。</p>
<p><分からない言葉はすぐ辞典で> 分からない言葉が出てきたらすぐに辞典で意味を調べましょう。意味が分かれば文章の内容がより理解できるようになります。国語辞典や漢字辞典で調べると、語い力が増え、国語の力が確実にレベルアップするでしょう。</p>	<p>国語の教科書だけでなく、読書で読んでいる本、新聞、ニュースなどでも、分からない言葉が出てきたらぜひ調べてみましょう。『見えない力』が身につけていきます。</p>

○ ワーク・問題集で間違えた問題は、正解を確かめて、やり直してみよう。

○ あなたの「感じ方」が大切です。十人いれば、十通りの感じ方があります。どんどん書いたり人に伝えたりして表現力を磨いていきましょう。

こんな勉強をしてみよう!

【生徒用】

【社会】

基本型	発展型
<p><復習に重点、書いて覚える> 教科書の内容をしっかりと読み、ノートを見直して学習のポイントを確認します。重要語句や人物の名前は漢字で書けるように書いて覚えましょう。地理だけでなく、歴史の学習でも地図帳を活用し、地名等を指でおさえながら確認していくとよいでしょう。言葉の丸暗記ではなく、関連付けて生きて働く知識とすることで、理解度も深まります。</p>	<p>地図や統計資料・グラフ等から必要な情報を読みとることで、学習内容をより深めることができます。 歴史では時代の流れや特ちょうをつかむため、年表づくりや時代ごとのまとめに取り組むことも有効です。</p>
<p><学習した内容をくわしく調べる> 地理、歴史、公民の学習内容はおたがいが密接に関係し合っています。「なぜ?」「どうして?」という疑問を持って調べ学習に取り組むと、楽しさにつながっていきます。図書館の本やインターネット等を活用して調べることで、情報を集める力(情報収集能力)も身につけられます。</p>	<p>社会の出来事は『いつ・どこで・だれが・何を・どのように・なぜ』でまとめると深い見方ができます。また、もしも自分が関係する人物だったらどのように行動したかを想像するのも良い方法だといえます。歴史上の人物と自分自身を比べてまとめてみるのも良い方法でしょう。</p>
<p><学習と社会の動きと関連づける> 社会科は、まさしく社会の動き、人間の生活をあつかう教科です。新聞を読むこと、テレビのニュースを見ることで、社会の仕組みを、より理解する事につながり、社会科の学習に意欲を持てるようになります。教科書や地図帳、資料集で記事やニュースと関連する事を探するのも楽しんで取り組める学習です。</p>	<p>新聞記事を、テーマに合わせて切りぬき、ノートにはる活動(スクラップ)に取り組んでみましょう。感想や意見を加えると、物事を深く見つめる力、考える力が身につきます。</p>

- 教科書の写真、図、グラフを見て、分かったことをメモしましょう。(ふせんなどを使うと便利です。)
- 学習する教科書のページを事前に読んでおくと、授業で学習する内容がわかりやすくなります。

こんな勉強をしてみよう!

【生徒用】

【数学】

基本型	発展型
<p><教科書の例題を理解する> 教科書の例題は、解き方や考え方の基本が示してあります。式の意味、計算の仕方や流れをしっかりと理解しましょう。再度、例題を自分の力で解いて、自分のものにします。その上で、練習問題に挑戦していきましょう。</p>	<p>応用問題が苦手人は、先生に聞きましょう。解き方を知ってワークや問題集などにある様々な問題を数多く解くことが大切です。出題のパターンを把握し、様々な形で出される問題に慣れていきましょう。</p>
<p><何回もくり返して学習する：復習> 授業で学習した内容を身につけるには、ワークや教科書の問題を何度も繰り返し復習することが大切です。問題を解くときは、答えを書くだけでなく、ノートに途中の式を書き、答え合わせもしっかりとします。どこで間違っただのかを確認し、分からないことは先生に確認して、できるまで粘り強く取り組みましょう。</p>	<p>内容に応じた解き方を身につけることも大切です。例えば、関数では、グラフや表を書き、関数の式をグラフのイメージにすることが大切です。証明問題は、作図してあたえられている仮定を書きこみ、すでに習った定義や定理を使い、内容やその仕組みを考えます。関数と図形の混ざった総合問題等にも挑戦していきましょう。</p>
<p><公式を使えるようにする> 数学の公式や定理は覚えるだけではいけません。問題に合わせて『使える』ようにすることが大切です。公式や定理にある文字や言葉が何を表している、どのような時に使えるのかを覚えるようにしましょう。丸暗記するだけでなく、実際に使ってみてマスターしましょう。</p>	<p>自分で問題集を買う場合、「ちょっと簡単!」と思うくらいの問題集が適切です。また、力に応じて基そ問題、応用問題、発展問題に分かれているものを使いやすいでしょう。さらに、数学検定等も活用して積極的に数学力の向上に努めましょう。</p>

- 問題に取り組むときは、常に時間を意識しよう!
- 学習した内容を使って、オリジナルの問題を作ってみよう。
- 作った問題を解き、友だちにも紹介してみよう。考えが深まります!

こんな勉強をしてみよう!

【生徒用】

【理科】

基本型	発展型
<p><教科書とノートの見直し> 教科書とノートには、学習の重要ポイントがいっぱいです。教科書・ノートを見直すことで、授業で学習した事がらが整理できます。授業の内容を確認しながら、要点をまとめるとさらに理解が深まります。ワーク等で練習問題に取り組むと知識が確かなものになるでしょう。</p>	<p>教科書の文章や図などを整理して要点をまとめましょう。 ワークを使っでの学習は、学習した内容がどのように問題に当てはめられるのかを把握できるだけでなく、考える力をつけたり、重要事項を覚えたりすることにも効果的です。</p>
<p><実験のまとめをきちんと行う> 授業で行った実験について、「どのような方法・手順で行うか」「結果から何が言えるか」を自分なりにまとめましょう。「目的と方法」「結果と考察」をそれぞれ関連づけることで、学習内容を一つのまとまりとして理解できるようになります。</p>	<p>実験の手順や器具の操作方法、実験の注意事項等を、図を使ってまとめると分かりやすくなります。 結果をグラフに表すなどのデータ処理をすると「考察」が深められます。表に整理し、比較するのも良いでしょう。</p>
<p><学習を自然や生活と関連づける> 身の周りの自然と生活には、理科に関わる学習の素材があふれています。例えば、地域の動植物を観察していると、自然の規則性におどろくことがあります。理科の学習の楽しさがわかり、学習内容が身につく、深められます。</p>	<p>図書館の本やインターネットを活用して、ふだんの生活で疑問に思ったことについて調べてみましょう。また、観察したことを記録し、図や表でまとめてみましょう。 科学展などに参加してみましょう。</p>

○ ワーク・問題集で間違えた問題は、正解を確かめて、やり直してみよう。

○ 当たり前のことを疑ってみましょう。身の回りの常識に疑問をもつと、たくさんの気づきがあるはず。ちょっとしたことの中にも学習したことがかかれています。「こんなもん」を「へえ〜!」にかえて、君が未来の科学者・技術者に! 研究が進むと、常識が変わるのも理科。君が新たな常識をつくってみませんか?

こんな勉強をしてみよう!

【生徒用】

【英語】

基本型	発展型
<p><声に出して読む> 教科書(今習っている単元)の音読に毎日取り組みましょう。家でも正しい発音ができるように、授業中の先生の発音をしっかりと聞いて、正確に発音できるようにします。「習ったその日に音読すること」がとても大切です。</p>	<p>音読によってリスニング(聞く)力も向上していきます。リスニングのCD等があれば活用しましょう。 ラジオやテレビの語学番組も、リスニング能力を向上させるのに大変良い方法です。</p>
<p><書いて覚える> 教科書の単語や英文をゆっくり発音しながら書いていねに書き写します。単語ならノートに1行、英文なら5回程度書くと良いでしょう。覚えるまでくり返し書くことが大切です。時間をおいて復習し、書けなかったものを中心にくり返し練習に取り組みましょう。</p>	<p>予習として英単語の意味や発音を辞書で調べ、単語帳や単語カード、ノートに書いておくと後で活用できます。 ノートの左のページに英文、右ページに日本語訳を書き、日本語訳を見て英文を書く練習をすると力がつきます。</p>
<p><基本文をマスターする> 基本文とは、教科書に載っている重要な英文のことです。基本文を覚えて、文を見て、「読める」ように、文の「意味が分かる」、文が「書ける」ようにしていくことが大切です。 授業のノートやワーク、教科書を使ってノートにまとめて復習してみましょう。</p>	<p>英語検定等に積極的に挑戦し、目標を持って学習に取り組みましょう。 英語を使って、日記や手紙を書くことも力がつきます。家族や友達と英語を使って会話することにも挑戦してみましょう。</p>

○ ワーク・問題集で間違えた問題は、正解を確かめて、やり直してみよう。

○ 先生やALT、CD等の発音をそっくりマネしてみよう!

○ Practice makes perfect.